

就ては各支部に於ては、上記の如き方法に於て精力的に應援されたい。

一各支部は最寄の争議困窮倉に對して、撥文、又は訪問して、団員の激勵に努むべし。

一各支部は争議応援、市政批判の演説會を開催すべし。

一聯合会の争議応援と交渉、強力にするため、争議応援資金を至急取まとり聯合会本部に送附せられたし。

一争議の進展により一支部ニテ所以同時に演説會を開催すれば何時でもよきやう準備し待機すべし。

追て日時等は決定次第指令す

尚其の他争議應援方法に就ては、対策委員會に於て適宜指令するにより各支部に於ては争議応援を下部組織に浸透するやう努力すると共に党本部、並に聯合会の展開する争議応援に就て積極的に行動せられたし。

別記(一)

スト情報

第五期

九月七日午後八時

争議團本部書記局

ゼネスト三日、状勢ハ益々マイソ。我々ノ結束ガ愈々固ク、ストノ持久戦ニ入ルコトヲ恐レタリ。又強割調停ヲ準備シ、ソノ裁會ヲ狙ツテ居ルト新聞紙ハ報章トシテメタリ、我々ハ当局ヲ案テ撤回セカル限リ維持ス。ストハ打切レ事ハ出来ナイ。

萬一ソツ言フ事ガアルトシテモ断シテストハ維持ス。暴圧案撤回山下局長、打倒スル迄ハ一歩モ引クナリ

争議團ノ状勢

●福氣部
始メテノスト参加ガ皆元氣旺盛、最後迄戦ハ決意強ク、首腦ハ強割調停ヲ引ツカ、ルナト要求。午五九時半、赤坂ノ入口ニハ(以下一行文字不明)

▲自動車茨松町
撤首ノ発表ト共ニ志氣更ニ昂揚、取有シ迄断乎頑強ルソ。本日約三十、高レタ知ハ分府所増大。

▲靴工部
大川支部参加四十二名、日黒王千住品川、四所ニ分宿シ、連絡支障ナシ。

南千住支部ハ遠郊茨城ニ本部ヲ設ク、一團トシテ宿城入。参加四十二名、春日町支部四十二名、大塚板橋千住ノ三ヶ所ニ分宿、日本橋ニ十一名、千住北千住、海川千住、四木三名、千住橋本、千住南千住、五ヶ所ニ宿城。團員共